

宮城県臨床検査技師会 会員の皆様へ

宮城県糖尿病対策推進会議

宮城県糖尿病療養指導士認定委員会

委員長 赤井裕輝

(東北医科薬科大学糖尿病代謝内科)



第4回宮城県糖尿病療養指導士 認定講習会のご案内

拝啓 日頃、糖尿病診療及び療養指導におきまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和の時代の幕が上がりました。総人口1億2,000万人の国に2,000万人の糖尿病&予備軍というのがわが国の現状です。少しずつ糖尿病の治療レベルは向上し、さらに患者の長寿化に伴い、糖尿病患者の死因も大きく様変わりしてきました。1位は悪性新生物です。2位が感染症、血管障害は3位にまで減少しました。高齢糖尿病患者の増加という背景からフレイルが以前にも増して注目を浴びるようになり、多方面からの対策の必要性が新たな課題として認識されてきております。

平成29年より、宮城県地域で活躍する糖尿病専門スタッフ『宮城県糖尿病療養指導士(CDE-MIYAGI)』の認定事業が始まり、この3年間で454名のCDE-MIYAGIが誕生しました。すでに地域での活躍のニューも耳に入るようになり、大変うれしく思っております。この認定業務は、宮城県糖尿病対策推進会議の下部組織である宮城県糖尿病療養指導士認定委員会が、宮城県医師会および日本糖尿病協会よりご支援を頂き行っているものです。

本年度は4回目の宮城県糖尿病療養指導士(CDE-MIYAGI)認定を行います。皆さまのチャレンジをお待ちしております。末筆となりましたが皆様のみすますのご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

記

第4回宮城県糖尿病療養指導士認定講習会

- 日 時 : 令和2年6月21日(日)および 令和2年7月19日(日)の2日間
- 会 場 : 東北福祉大学仙台東口キャンパス 仙台市宮城野区榴岡 2-5-26
- 受 講 資 格 : ① 宮城県内に勤務し、糖尿病療養指導に関心があること
- ② 看護師・准看護師・保健師・助産師・管理栄養士・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・臨床心理士・歯科衛生士のいずれかの資格を持つ者、もしくは宮城県糖尿病療養指導士認定委員会が認める医療・介護等に関する認定資格を有していること
- ③ 上記②の資格取得後、3年以上の糖尿病に関する業務経験を有していること
- ④ 宮城県糖尿病療養指導士認定講習会申込み時に、日本糖尿病協会の会員であること
- 募集人数 参加費 : 100名 10,000円(2日間で)
- 受講申し込み方法 : ホームページより必要書類をダウンロードし、必要書類を添えて郵送にてお申込みください。(裏面にポイントのみ記載)

受講申込み方法

1. 受講申込	● 申し込み前に、<u>受講資格</u>をご確認ください。 ● ホームページより必要書類をダウンロードし、必要書類を添えて郵送にてお申込みください。 <送付先> ※ 下記の ☐ 内を全て宛名として記載してください。 〒982-8799 新仙台郵便局留 CDE-MIYAGI事務局 宛 (仙台市宮城野区福室1丁目12-1) ※ 封筒に「講習会申請書」と朱書きしてください ● 長3サイズ封筒に82円切手を貼付し、返送先をご記入の上、同封ください。 ● 受付期間：2月15日～3月31日（当日消印有効） ※ <u>CDE-Jの方、糖尿病看護認定看護師の方は、講習会受講不要です。</u>
2. 受講票発行	● 受講資格を審査し、受講決定の方には受講票をお送りします。 ● 受講資格を満たしていても、定員を超過した場合には調整を行う場合があります。定員調整のため受講できなかった方は、次年度優先的に受講できます。
3. 受講料のお支払い	● 受講票と一緒に、受講料振込みについてのご案内をお送りします。期限までにお振込みください。 ● ゆうちょ銀行が発行する受領証・払込確認票をもって領収書と代えさせていただきます。本委員会が発行する領収書が必要な方は、事務局まで御連絡ください。
4. 受講	● テキストは『糖尿病療養指導ガイドブック 2018』（日本糖尿病療養指導士認定機構・編著、メディカルレビュー社・刊）を使用します。 会場での販売・貸出は行いません。必ず事前にご用意下さい。 ● 2日間全てを受講し、確認テスト実施により、「受講修了」となります。 ● 1日のみの受講の場合も、受講料の返金はありません。 ● 1年で全てを受講することを原則としますが、連続する2年間で、全ての受講を終了した場合も「受講修了」として扱います。

【お問い合わせ】

当委員会ホームページ URL : <https://www.cde-miyagi.jp/> の「お問い合わせ」フォームからの入力をお願い致します。

看護師、准看護師、保健師、助産師、
管理栄養士、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、
歯科衛生士、の資格を持つ医療従事者のみなさんへ

CDE-MIYAGI(宮城県糖尿病療養指導士) の資格を取得しませんか？



2019年度(第3回)認定講習会の様子

【CDE-MIYAGI資格取得のメリット】

- ① 質の高い糖尿病療養指導の知識・技術を身につけ、さらに維持・向上できる
- ② 宮城県内の糖尿病療養指導に関する研修会の情報を、会員専用ホームページから入手できる
- ③ 仲間が増えると「顔の見える連携」がしやすくなる
- ④ 患者指導のパンフレットやインスリン自己注射の補助具等の療養指導ツールを入手しやすくなる



宮城県における糖尿病専門職の資格です

- 日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の資格を取りたいが、受験資格の要件が満たせない
- 糖尿病患者さんへの指導には興味があるが、日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の資格を取るにはハードルが高い
- 資格を取得し、糖尿病に関する知識を深めたい
- 地域の糖尿病に関わる仲間と情報交換したい

このような事を考えていたり、悩んでいた方

2020年度(第4回)宮城県糖尿病療養指導士(CDE-MIYAGI)の 資格取得をご希望の方へ

- 講習会開催日：2020年6月21日(日)
2020年7月19日(日) ※2日間の参加が必要です
- 会場：東北福祉大仙台東口キャンパス

下記の方も募集します

- 日本糖尿病療養指導士(CDEJ)をお持ちの方
- 糖尿病看護認定看護師をお持ちの方
- 日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の資格を失効して2年以内の方

お問い合わせ

- 宮城県糖尿病療養指導士認定委員会事務局
※ホームページからメールでのお問い合わせになります
<https://www.cde-miyagi.jp>

公式HPへGo!

QRコードを
読み取ってね



CDE-MIYAGI資格取得のメリット



- ① 質の高い糖尿病療養指導の知識・技術を身につけ、さらに維持・向上できる
- ② 宮城県内の糖尿病療養指導に関する研修会の情報を、会員専用ホームページから入手できる
- ③ 仲間が増えると「顔の見える連携」がしやすくなる
- ④ 患者指導のパンフレットやインスリン自己注射の補助具等の療養指導ツールを入手しやすくなる

CDE-MIYAGI資格取得者にインタビュー



佐藤 梨恵さん（大泉記念病院 薬剤師）

Q1. CDE-MIYAGIの資格を取得したきっかけ

以前からCDEJに興味・関心を抱いていましたが、条件を満たすことが出来ませんでした。糖尿病患者様に対し服薬指導を行っている中で、糖尿病は生活習慣や遺伝的要因などが密接に関与し、もっと多角的なアプローチを必要とする疾患だと感じていました。薬剤だけでなく患者様の背景を理解し、指導を行えるよう知識を総合的に取得できるきっかけを探しているときに知り、資格取得に至りました。

Q2. CDE-MIYAGIとして1年間活動してみたの感想

糖尿病であることを自覚している方とそうでない方で、質問する内容や指導時間・患者の理解度にばらつきがあると感じています。個々の背景の違う患者様に対して同じ伝え方・内容で伝えても理解度が一定にならない事に気づきました。そんな時は、医師や看護師など他の医療職種に意見を聞いたり、患者様に指導して頂いたりします。個々にあったやり方・内容を医療職種の全体で考えることの大切さと難しさを知りました。

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定について

日々変化していく治療のスタンダードについていくために、勉強会への参加や宮城県糖尿病療養指導士の方々との交流の場に参加し、その知識を地域患者様に反映することを目指しています。また、一昨年から非常勤の糖尿病専門医が着任し、CDEJの受験条件を満たすことが出来るようになりました。糖尿病専門医の診察に立会い、指示や指導介入内容を提案・相談させて頂いています。日々の患者様へ指導や医療従事者間での連携を行いCDEJを目指しています。

院内での薬剤指導の様子



小野 ゆかりさん（仙台オープン病院 歯科衛生士）

Q1. CDE-MIYAGIの資格を取得したきっかけ

糖尿病と相互関連性を有する歯周病は、国民の8割が罹患しているといわれています。日々、歯周病を有する患者様に接する歯科衛生士として、糖尿病についての正しい知識を習得するとともに、看護師や管理栄養士などの関係職種とそれぞれの専門性を理解しあい、連携して糖尿病を有する患者様の医療に貢献したいと思いました。

Q2. CDE-MIYAGIとして1年間活動してみたの感想

自分が勤務している病院の歯科診療においても、糖尿病を合併している患者様が多くみられます。

糖尿病手帳を見て血糖コントロールが出来ていることや、食事のお話しなどから日常工夫している事、口の状態からしっかりと噛めているか等を確認しています。また、CDE-MIYAGI公式ホームページの会員専用ページに公開されている様々な研修会に参加し、他職種の視点でのアプローチなど勉強させていただき、糖尿病を有する患者様への療養指導に役立っています。

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定について

患者様の訴えを聴き、状態にあったケアを提供できるよう多職種と連携しつつ、歯周病と糖尿病相互に改善できるようCDE-MIYAGIでの知識・技術の向上を目指していきたいと考えています。

今後、資格取得した歯科衛生士らと糖尿病患者との関わりなどについて話しあえる機会が出来るといいなと思います。



2019年世界糖尿病デーin宮城
の歯科担当スタッフと



宮城県糖尿病療養指導士認定委員会
Certification Commission for Diabetes Educator in Miyagi